

各プロジェクトの進捗について



令和 8 年 8 月 7 日
愛南町 海業振興課



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
愛南海業コンシェルジュ“Umidas”

○進捗状況

※実施済：青、実施中：緑、今後予定：赤

直近のスケジュール	～令和7年度	8年度	9年度	・・・
ぎょしょく体験プログラムの構築	■	■	■	■
ぎょしょく体験プログラムの確立・実装		■	■	■
町のPR活動と情報発信	■	■	■	■
先進地視察や研修会等の情報収集	■	■	■	■



○現状

- ◆ 令和7年度実装 1件【郷土料理(通年)】
- ◆ 令和8年度実装予定 3件【ウニッコリー体験(12～5月)、郷土料理(通年)、市場(食堂)見学(5～11月) 他】 予定
- ◆ ぎょしょく体験プログラムの構築、実証試験
既存のコンテンツ内容や体験提供先の受入体制、宿泊、移動手段等について精査し、企画・実証・改善を実施。
- ◆ 体験コンテンツを提供・ガイドする人材の育成、体制作り
体験を受け入れる体験提供者や、参加者との間を取り持つガイド人材の育成体制とシステムの構築を検討。
愛媛大学等の大学生の受入れ(フィールドワーク)・ゼミ合宿の受入れを実施。
- ◆ 先進地視察や研修会等による情報収集やスキルの向上
視察研修等（海業取組先進地視察、ガイド人材セミナー、エコツーリズム研修 等）の参加

- | 課 題 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 各体験提供者の育成・実績づくり ● 人員・情報発信・ツアー受け皿・各所連携不足 ● 関係各所との役割分担・コンセプトの明確化 ● 町内イベントの不足 |

- | 協力してもらいたいこと |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ➢ ぎょしょく体験プログラムに係る人的支援（プレイヤー、ガイド） ➢ 観光面以外にも、地域の方々発案の海業事業に関して協力、支援できる体制を構築したい。 |

- | 対 策 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域おこし協力隊との連携・ブログの更新やCATVとの連携による情報発信 ➢ 地域ブランディング研究所の伴走支援（愛媛県事業） ➢ 地元交流会の実施や町外イベント参加、海業取組事例の活動紹介 ➢ 海業を中心とした町内イベント（愛南町産業祭り（仮）など）の企画 |



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
インバウンド！AINANツアー生成プロジェクト

○進捗状況

※実施済：青、実施中：緑、今後予定：赤

直近のスケジュール	～令和7年度	8年度	9年度	・・・
既存サービスの運営				
新規サービスの確立・実装				



○現状

- ◆ 運営体制：5名(外部からも就業有り)、繁忙期は7、8名。
- ◆ 国内向けツアーの対応
 - ・ 令和6年度に比べ、令和7年度は国内需要が人気。特にシーウォーカーの評価が特に高い。
 - ・ 令和8年度は、既存サービス【海底が見える船、ダイビング、鹿島渡し、シーウォーカー、SUP、スノーケル】に注力予定。
 - ・ 海の体験教室などの実験的なサービスが、有償化して定着化がみられる。
- ◆ Umidasと連携したプログラムの対応
 - ・ モニターツアーや学生向けプログラムの構築。
- ◆ ツアーグリーンフィンズ認証の取得(R7)→R8継続見込み
 - ・ 国内の事業者からの需要があり、口コミで広がっている。
- ◆ 海底熟成ワイン
 - ・ 愛南町のふるさと納税の対象品として、海底熟成ワインを登録し、R7年度6本前後出荷済み。

課 題
● 資金不足・人材不足

協力してもらいたいこと
➤ 関係者人口の増加
➤ 愛南町内の各事業主体との相互連携(横のつながり)
➤ 役場の方向性の共有

対 策
➤ 継続した既存サービスの提供
➤ 町内外に向けたHPやSNSにおける情報発信



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
愛南町きらめき海道プロジェクト

○進捗状況

※実施済：青、実施中：緑、今後予定：赤

直近のスケジュール	～令和 7 年度	8 年度	9 年度	・・・
プロジェクト構想・方向性検討				
イベントの意見だし(運営委員会にて)	9月～12月			
プロジェクトの実装	3月			



○現状

- ◆ プロジェクトの概要
 - 「きらめき」：愛南町の海岸線や豊かな海の幸を表現し、訪れる人々に感動と輝きを与える場所
 - 「海道」：海沿いの道のりや体験をイメージ
- ◆ 将来的には商工観光課やUmidas等が「きらめき」を活用できる宣伝ツールとして、来訪者へ観光動線の案内(パンフ効果等)を果たすことを目的とする

課 題

- 町外からの参加者に対する認知・誘客導線が弱い
- イベント間の連携が弱く、周遊に繋がっていない

協力してもらいたいこと

- 各イベントの情報提供
開催情報や参加者の反応、課題等の提供
- 来訪者の回遊促進への連携強化
他イベントの紹介(チラシ設置や共通企画への参加)
- イベントのみではなく、食事処やお土産等の購買が可能な場所への導線の形成

対 策

- 年間イベントカレンダーの可視化
- 観光導線強化に向けた観光協会HPやSNS、交通拠点での掲示、メディアへの露出
- 周遊するための横展開に向けたツアーや共通ノベルティ、複数イベントの同時開催



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト

○進捗状況

※実施済：青、実施中：緑、今後予定：赤

直近のスケジュール	～令和7年度	8年度	9年度	・・・
ホンダワラ繁茂状況調査	➡ (6月中旬)	➡ (6月中旬)	➡ (6月中旬)	➡ (6月中旬)
Jブルークレジット認証申請	(9月) ➡	(9月) ➡	(9月) ➡	(9月) ➡
〃 購入希望者の公募	➡	➡	➡	➡



○現状

- ◆ 調査時期：ホンダワラが最も繁茂する6月中旬に実施予定
- ◆ 調査方法：ドローンの空撮、船でサンプル採取後、藻場面積と重量からマメタワラのCO2吸収量を算出
- ◆ ホンダワラ繁茂状況調査及びJブルークレジット申請については継続して取り組む予定

申請年	申請海域	マメタワラ面積 (ha)	マメタワラ重量 (t)	認証数量 (t-CO2)
令和5年度	家串	1.75	280	5.9
令和6年度	油袋、家串、平落、柏崎	7.09	1028.8	34.8
令和7年度	油袋、家串、平落、柏崎	8.83	1600	33.8

課 題	協力してもらいたいこと
● a)買取先の確保 R5実績：松山市の事業者が全量買取 (5.9 t /CO2：99,000円) R6実績：公募中 (34.8 t /CO2) R7実績：33.8t公募中 ● b)まとまった量の申請 企業側のオフセット目的としては、量が少ないため増量を図る ● c)人手不足 現状、調査員一人での調査体制 ● d)実測データの精度向上 実測データの精度≒ドローンのカメラ性能、調査マニュアルの確立	➤ 買取先が見つかるよう広報、宣伝、SNS発信 ➤ 買取先の紹介

対 策
➤ a)買取先の確保 R7、R8：GX-ETS(排出量取引制度)の活用 愛媛県ゼロカーボン推進課との連携を検討 (連携金融機関からの買取先紹介など) ➤ b)まとまった量の申請 内海地区(柏崎・平落・家串・油袋)以外でも調査海域を増やして申請量を増やす ➤ d)実測データの精度向上 吸収係数等のマニュアルを他地区と統一し、客観的な評価(愛南町のマニュアルが適当であるか評価)をする必要有



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト

(ウニッコリー畜養関連)

○進捗状況

※実施済：青、実施中：緑、今後予定：赤

直近のスケジュール	～令和7年度	8年度	9年度	・・・
ウニッコリー畜養	(11～4、5月)	(11～4、5月)	(11～4、5月)	(11～4、5月)
ウニッコリー販売	(12～1月)			
ウニッコリー体験 (7回以上想定/年)	(12～5、6月)	(12～5、6月)	(12～5、6月)	(12～1月)



○現状

体験：町内外問わず要望があり、ぎょしょく教育やぎょしょくツーリズムの一環として提供をしている。

(1)採捕状況	(2)畜養状況
・採捕人時：ダイバー1、2人体制	・畜養人時：2人体制
・採捕頻度：1回/2週間(約300個/1回)	・畜養による生産量：R7は船越漁港のみで最大8カゴ＝最大500個程度⇒R8は120個を想定
・ダイバー依頼料：2000円/1籠(ダイバーのご厚意で)	・給餌頻度：2回/週
(3)加工・販売状況(R6～R7)	(4)体験状況
・加工(殻剥き)人時：2人体制、最大80個/2日/週	・体験先：町内研修・南宇和高校・ツアー対応・取材対応
・販売先：【町外】Noeud.TOKYO【町内】ゆらり内海	・頻度：1～2回/月
・販売量：12パック	

課題

- マンパワー不足 (人材の確保、育成、支援体制) ご厚意・役場人材活用時間の多さ
- 品質のばらつき
- 資金面(体験事業に係る資材や消耗にかかる費用)の負担

協力してもらいたいこと

- 採捕～加工まで作業人時を2人追加いただきたい
- 【ガイド人材】 体験説明が出来る人が欲しい

対策

- 品質向上：水温の変化や体験日程に対応した給餌頻度やタイミングの調整 適切な養殖密度の反映



各プロジェクトの進捗状況

プロジェクト名：
愛南ぎょしょくツーリズムプロジェクト

○進捗状況(ツーリズム)

※実施済：青、実施中：緑、今後予定：赤

直近のスケジュール	～令和7年度	8年度	9年度	・・・
プログラムの構築 モニターツアーの実施 課題抽出・改善検討				
プログラムの確立・実装				



○現状

※出前授業については、通年実施

【①ツーリズム】

- ◆ 役割分担：(一社) Umidas
- ◆ 財源：町の補助金を活用し、(一社) Umidasが実施。
- ◆ (一社) Umidasがツーリズム(体験ツアー等の事業化)へ昇華させ、実施。民間事業者、個人等が対象。
実績：令和7年度 17件。目標：令和8年度 20件前後。

【②出前授業】

- ◆ 役割分担：愛南町ぎょしょく普及推進協議会
- ◆ 財源：町の負担金を活用し、愛南町ぎょしょく普及推進協議会が実施。
- ◆ 愛南町ぎょしょく普及推進協議会が中心となって、愛南町内外の学校等で魚の生産から消費、文化に関する教育を実践し、水産物の消費拡大および担い手の誘致・育成を図るために、水産業振興の一環として実施。保育所、小中学校、公民館等が対象。
実績：令和7年度 116件。目標：令和8年度 100件前後。

課 題

- ①②：開催に向けて人員体制・悪天候時における代替案の検討
- ①：旅行会社との連携
- ①：本業がある体験受入事業者の本業へ影響

協力してもらいたいこと

- ①②：町内外への情報発信
- ①：旅行業の資格がある旅行会社とのマッチング
- ①：コンテンツの造成・選択や安全管理等々のアドバイス

対 策

- ①②：実施体制の構築
- ①：旅行会社の確保